

エチゾラム錠 0.25mg 「EMEC」 エチゾラム錠 0.5mg 「EMEC」 エチゾラム錠 1mg 「EMEC」

【この薬は？】

販売名	エチゾラム錠 0.25mg 「EMEC」 Etizolam tab. 0.25mg 「EMEC」	エチゾラム錠 0.5mg 「EMEC」 Etizolam tab. 0.5mg 「EMEC」	エチゾラム錠 1mg 「EMEC」 Etizolam tab. 1mg 「EMEC」
一般名	エチゾラム Etizolam		
含有量 (1錠中)	エチゾラム 0.25mg	エチゾラム 0.5mg	エチゾラム 1mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」

<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、抗不安薬と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、脳内のベンゾジアゼピン受容体に作用し、脳が興奮している状態をはずめ、不安や緊張をやわらげるはたらきがあります。

- ・次の病気の人に処方されます。
 神経症における不安・緊張・抑うつ・神経衰弱症状・睡眠障害
 うつ病における不安・緊張・睡眠障害
 心身症（高血圧症、胃・十二指腸潰瘍）における身体症候ならびに不安・緊張・抑うつ・睡眠障害
 統合失調症における睡眠障害
 下記疾患における不安・緊張・抑うつおよび筋緊張
 頸椎症、腰痛症、筋収縮性頭痛
- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに飲むことが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

- 次の人は、この薬を使用することはできません。
 - ・急性狭隅角緑内障の人
 - ・重症筋無力症の人
- 次の人は、慎重に使う必要があります。使い始める前に医師または薬剤師にその旨を教えてください。
 - ・心臓に障害のある人
 - ・肝臓や腎臓に障害のある人
 - ・脳に器質的障害のある人
 - ・小児
 - ・高齢の人
 - ・衰弱している人
 - ・中等度の呼吸障害のある人又は重篤な呼吸障害（呼吸不全）のある人
- この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。通常、成人の飲む量および回数は、次のとおりです。

〔神経症、うつ病に用いる場合〕

販売名	エチゾラム錠 0.25mg「EMEC」	エチゾラム錠 0.5mg「EMEC」	エチゾラム錠 1mg「EMEC」
1日量	3mg		
	12錠	6錠	3錠
飲む回数	1日3回に分けて飲む		

〔心身症、頸椎症、腰痛症、筋収縮性頭痛に用いる場合〕

販売名	エチゾラム錠 0.25mg 「EMEC」	エチゾラム錠 0.5mg 「EMEC」	エチゾラム錠 1mg 「EMEC」
1日量	1.5mg		
	6錠	3錠	1.5錠
飲む回数	1日3回に分けて飲む		

〔睡眠障害に用いる場合〕

販売名	エチゾラム錠 0.25mg 「EMEC」	エチゾラム錠 0.5mg 「EMEC」	エチゾラム錠 1mg 「EMEC」
1日量	1～3mg		
	4～12錠	2～6錠	1～3錠
飲む回数	寝る前に1回飲む		

・いずれの場合も高齢の人における1日量は1.5mgまでとされています。

●どのように飲むか？

コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

〔神経症、うつ病、心身症、頸椎症、腰痛症、筋収縮性頭痛に用いる場合〕

決して2回分を一度に飲まないでください。気がついた時に、1回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は1回とばして、次の時間に1回分飲んでください。

〔睡眠障害に用いる場合〕

決して2回分を一度に飲まないでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

運動失調（手足の運動がうまくできない）、低血圧（からだがだるい、ふらつき、立ちくらみ、力が入らない、めまい、頭が重い、頭の痛み）、呼吸抑制（息苦しい、息切れ）、意識障害（意識の低下、考えがまとまらない、判断力の低下）などがあらわれることがあります。いくつかの症状が同じような時期にあらわれた場合は、使用を中止し、ただちに医師に連絡してください。過量使用の治療薬としてフルマゼニルなどがあります。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・眠気、注意力・集中力・反射運動能力などの低下が起こることがあるので、自動車の運転などの危険を伴う機械の操作は行わないでください。
- ・この薬を続けて飲んでいくと、薬をたくさん飲みたい、薬がないといられない気持ちになるなど、薬物依存の症状があらわれることがあるので、長期間の使用は避けることとされています。このような症状があらわれたら、医師に連絡してください。また、この薬の量を急激に減らしたり、中止したりすることで、痙攣発作、せん妄、振戦、不眠、不安、幻覚、妄想などの離脱症状があらわれ

ることがあるので、この薬を中止する場合には、徐々に減量されます。この薬の飲む量や飲む期間については医師の指示に従ってください。

- ・妊娠又は妊娠している可能性のある人は医師に相談してください。
- ・授乳を避けてください。
- ・アルコール飲料はこの薬に影響しますので、控えてください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を使用していることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。

このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
依存性 いぞんせい	薬がないといられない、薬を中止すると手足がふるえて不眠・不安・けいれん・幻覚などを起こす
呼吸抑制 こきゅうよくせい	息苦しい、息切れ
炭酸ガスナルコーシス たんさんがすなるこーしす	からだがだるい、意識の低下、考えがまとまらない、頭痛、耳鳴り、胸がドキドキする、息苦しい、息切れ、判断力の低下
悪性症候群 あくせいしょうこうぐん	38℃以上の発熱、ふるえ、意識がうすれる、考えがまとまらない、判断力が低下する、飲み込みにくい、筋肉のこわばり
横紋筋融解症 おうもんきんゆうかいしょう	脱力感、手のしびれ、手足のこわばり、足のしびれ、筋肉の痛み、尿が赤褐色になる
間質性肺炎 かんしつせいはいえん	発熱、から咳、息苦しい、息切れ
肝機能障害、黄疸 かんきのうしょうがい、おうだん	からだがだるい、白目が黄色くなる、吐き気、嘔吐（おうと）、食欲不振、かゆみ、皮膚が黄色くなる、尿の色が濃くなる、尿が褐色になる

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	からだがだるい、38℃以上の発熱、ふるえ、脱力感、発熱
頭部	意識の低下、考えがまとまらない、頭痛、意識がうすれる、判断力が低下する
眼	白目が黄色くなる
耳	耳鳴り
口や喉	飲み込みにくい、から咳、吐き気、嘔吐（おうと）
胸部	息苦しい、息切れ、胸がドキドキする、吐き気

部位	自覚症状
腹部	食欲不振、吐き気
手・足	手のしびれ、手足のこわばり、足のしびれ
皮膚	かゆみ、皮膚が黄色くなる
筋肉	筋肉のこわばり、筋肉の痛み
尿	尿が赤褐色になる、尿の色が濃くなる、尿が褐色になる
その他	薬がないといられない、薬を中止すると手足がふるえて不眠・不安・けいれん・幻覚などを起こす、判断力の低下

【この薬の形は？】

販売名	エチゾラム錠 0.25mg「EMEC」	エチゾラム錠 0.5mg「EMEC」	エチゾラム錠 1mg「EMEC」
形状	白色の素錠	白色の割線入りの素錠	
			
直径	8.0mm	9.5mm	9.5mm
厚さ	3.3mm	4.0mm	4.0mm
重さ	168mg	280mg	280mg
識別コード	EE36	EE04	EE28

【この薬に含まれているのは？】

販売名	エチゾラム錠 0.25mg「EMEC」	エチゾラム錠 0.5mg「EMEC」	エチゾラム錠 1mg「EMEC」
有効成分	エチゾラム		
添加物	軽質無水ケイ酸、ジメチルポリシロキサン（内服用）、トウモロコシデンプン、ポビドン、ポリビニルアルコール（部分けん化物）、D-マンニトール	軽質無水ケイ酸、ジメチルポリシロキサン（内服用）、トウモロコシデンプン、ポビドン、D-マンニトール	軽質無水ケイ酸、ジメチルポリシロキサン（内服用）、トウモロコシデンプン、ポビドン、ポリビニルアルコール（部分けん化物）、D-マンニトール

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・光を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：アルフレッサ ファーマ株式会社

(<https://www.alfresa-pharma.co.jp/>)

販売会社：日医工株式会社 (<https://www.nichiiko.co.jp/>)

くすりの相談窓口の電話番号

TEL（フリーダイヤル）：(0120)039-215

受付時間：9時～17時（土、日、祝祭日その他当社休業日を除く）